

# めぐみの学校の子

恵田小

校長室だより  
令和元年五月二十四日

No.129

## 運動会のめぐみ

今年は毎日、あこがれのサンコウチョウの声が聞かれる。姿を見たという恵田っ子の話を聞くと、うらやましく思う。今年も、あの長い尾を



揺らしながら飛ぶ姿を見たい。姿は見たことがなかったが、「ギャーギャー」という声はよく聞いていたカケスを、今朝、初めて見た。野鳥の会の方によると、恵田学区は、野鳥観察をするにも、野鳥が暮らすにも、まさに「めぐみの里」だそうだ。

明日、「めぐみの和」の目標のもと、恵田小学校、恵田学区の運動会を行う。「めぐみの学校」と「めぐみの里」の「ひと」が、それぞれのめぐみをわかち合い、絆を深めるときだ。少し内容や順番を変えた令和初の運動会を、令和元年度の恵田っ子、恵田学区民で作り上げ、平成と令和の運動会の融和を図る。

恵田っ子、職員が練習を重ねてきた。そして、学区関係の皆さんの協力のもと、準備が調（ととの）いつつある。今日の夕方にはしっかりと調う予定である。今日は、晩会の方が、杉門づくりに来てくださった。これも「めぐみの里」の「ひと」の「めぐみ」。



めぐみをわかち合い、絆を深める令和の運動会になることを願う。

### 恵田っ子へ

思（おも）いごとばに

今年（ことし）の俳句（はいく）づくりでは、季節（きせつ）を表（あらわ）すことば「季語（きご）」を一（ひと）つ入（い）れること、うれしい、たのしい、かなしいなど、気持（きも）ちを表（あらわ）すことばをつかわないことをめあてにしました。

明日（あした）は運動会（うんどうかい）。うれしいことや楽（たの）しいこと、くやしいこと、ほっとしたことなど、いろいろな気持ちをあじわうことでしょう。心（こころ）が動（うご）いた場面（ばめん）の様子（ようす）を俳句（はいく）にしましょう。そのときの様子の写真（しゃしん）をことばにあらわし、俳句（はいく）にするという感（かん）じがよいです。たくさん俳句（はいく）ができるような、そして、「めぐみの和（わ）」を深（ふか）める運動会（うんどうかい）にしましょう。



全校（ぜんこう）リレーの一位（いちい）チームに、閉会式（へいかいしき）でトロフィーをおくります。

まえのこたえ ①とつきよきよかきよく↓ホトトギス ②こっちこい、こっちこい↓コジュケイ ③つき・ひ・ほし・ほいほいほい↓サンコウチョウ